2027年５月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月13日

上場会社名　大黒天物産株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2791　ＵＲＬ　http://www.e-dkt.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）大賀　昌彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営企画室長　（氏名）大賀　友貴　ＴＥＬ　086-435-1100

配当支払開始予定日　ー
決算補足説明資料作成の有無：　無
決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．2027年５月期第１四半期の連結業績（2026年６月１日～2026年８月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年５月期第１四半期	83,273	5.5	582	△65.2	620	△65.6	382	△65.8
2026年５月期第１四半期	78,947	8.7	1,673	△36.7	1,802	△32.7	1,118	△35.6

（注）包括利益　2027年５月期第１四半期　390百万円（△66.5%）　2026年５月期第１四半期　1,166百万円（△32.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年５月期第１四半期	28.48	ー
2026年５月期第１四半期	80.77	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年５月期第１四半期	138,431	61,077	44.0
2026年５月期	139,295	61,210	43.9

（参考）自己資本　2027年５月期第１四半期　60,957百万円　2026年５月期　61,090百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年５月期	ー	0.00	ー	39.00	39.00
2027年５月期	ー				
2027年５月期（予想）		0.00	ー	39.00	39.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．2027年５月期の連結業績予想（2026年６月１日～2027年５月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	167,400	7.2	2,900	△0.4	3,000	△2.4	1,900	4.3	141.66
通期	344,100	7.8	7,400	39.7	7,600	39.4	4,700	30.4	350.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：　無
②　①以外の会計方針の変更	：　無
③　会計上の見積りの変更	：　無
④　修正再表示	：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年５月期１Ｑ	14,502,400株	2026年５月期	14,502,400株
②　期末自己株式数	2027年５月期１Ｑ	1,090,951株	2026年５月期	1,090,907株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年５月期１Ｑ	13,411,470株	2026年５月期１Ｑ	13,848,893株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。尚、上記予想に関する事項は、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変更があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間（2026年６月１日～2026年８月31日）における我が国経済は、景気が緩やかに回復傾向に向かう一方で、不安定な国際情勢に伴う原材料価格の高騰や不安定な為替相場の推移、エネルギーコストの上昇などにより、先行きが不透明な状況が続いております。また、物流コストの増加や最低賃金の引き上げに伴う人件費の増加の影響により、極めて厳しい状況が続いております。

小売業界におきましては、継続する商品価格の値上げによって、消費者の生活防衛意識は高いまま維持されており、消費に対する低価格・節約志向が続いております。また、各企業においても人件費や物流費、建築費など、様々なコスト上昇による店舗運営費の増加が続いており、企業運営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況であります。

このような環境の中、当社グループでは、「魅力ある店づくり６項目」（①価格、②品質、③売場、④活気、⑤環境整備、⑥接客）の徹底をスローガンに、お客様にご支持いただける小売業を目指して取り組んでおります。また、お客様に「安くて新鮮で美味しい商品」を提供するべく、ＥＳＬＰ（エブリデイ・セーム・ロープライス）による地域最安値価格を目指すことに加え、自社開発商品の中身を徹底的に「アナライズ」（分析）し改良を重ねた、「高品質・低価格」な商品（D-PRIDE）を前面に打ち出して展開するほか、自社物流の構築による物流コスト削減、産地からの最短定温物流実現による生鮮食品の鮮度向上を推進しております。さらに成長戦略として、高速多店舗化出店を掲げ、店舗数の増加によって中国及び関西の両センターの稼働率を上げることでコスト削減を実現しております。当第１四半期連結累計期間において、大阪府、奈良県、山口県、福井県にそれぞれ１店舗の計４店舗を出店いたしました。また、建築コストの増加により従来よりも出店にかかる費用が増加し、販管費の増加に影響を与える中、新規出店のうち１店舗を１００％センター供給店舗フォーマット（SFO店舗）での出店とすることで、従来の店舗と比べて出店コストと店舗運営コストの削減を実現しております。また、既存店舗の活性化を図るために４店舗の改装を実施しました。そのうち太宰府西店は、店舗フォーマットをマミーズからディオに変更いたしました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は832億７千３百万円（前年同期比5.5%増）、経常利益は６億２千万円（前年同期比65.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は３億８千２百万円（前年同期比65.8%減）となりました。

また、当社グループのセグメントの経営成績につきましては、小売事業以外に、卸売事業、飲食事業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

（２）当四半期の財政状態の概況

（流動資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、282億８千４百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億９千８百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、商品及び製品の増加（106億２千４百万円から111億５千４百万円へ５億３千万円増加）などに対し、現金及び預金の減少（103億３千７百万円から99億６千１百万円へ３億７千５百万円減少）、流動資産のその他の減少（82億２千４百万円から59億９千８百万円へ22億２千６百万円減少）などによるものであります。

（固定資産）

当第１四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,101億４千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億３千４百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、投資その他の資産の減少（151億７千１百万円から149億３千６百万円へ２億３千５百万円減少）に対し、有形固定資産の増加（935億８千８百万円から950億３千３百万円へ14億４千４百万円増加）などによるものであります。

（流動負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、501億２千１百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億４千３百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、支払手形及び買掛金の減少（211億９千３百万円から209億２千８百万円へ２億６千５百万円減少）、未払法人税等の減少（８億８千６百万円から２億９千１百万円へ５億９千５百万円減少）、賞与引当金の減少（７億６千８百万円から４億１千７百万円へ３億５千万円減少）、流動負債のその他の減少（115億１千７百万円から109億５千６百万円へ５億６千１百万円減少）に対し、短期借入金の増加（145億８千３百万円から174億９千５百万円へ29億１千２百万円増加）などによるものであります。

（固定負債）

当第１四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、272億３千２百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億７千５百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、長期借入金の減少（215億１千９百万円から195億６千７百万円へ19億５千２百万円減少）などによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産の残高は、610億７千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億３千２百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、利益剰余金の減少（619億４百万円から617億６千３百万円へ１億４千１百万円減少）などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年５月期の第２四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに2026年７月９日公表の業績予想に変更ありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年５月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,337	9,961
受取手形及び売掛金	156	116
商品及び製品	10,624	11,154
仕掛品	172	181
原材料及び貯蔵品	867	870
その他	8,224	5,998
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	30,383	28,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	59,727	60,568
土地	17,480	17,478
その他（純額）	16,380	16,986
有形固定資産合計	93,588	95,033
無形固定資産	152	177
投資その他の資産		
建設協力金	1,158	1,130
差入保証金	5,923	5,993
その他	8,193	7,845
貸倒引当金	△103	△32
投資その他の資産合計	15,171	14,936
固定資産合計	108,912	110,147
資産合計	139,295	138,431

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年５月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年８月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,193	20,928
短期借入金	14,583	17,495
未払法人税等	886	291
賞与引当金	768	417
資産除去債務	27	31
その他	11,517	10,956
流動負債合計	48,977	50,121
固定負債		
長期借入金	21,519	19,567
退職給付に係る負債	56	61
資産除去債務	6,183	6,259
その他	1,348	1,345
固定負債合計	29,107	27,232
負債合計	78,085	77,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,921	1,921
利益剰余金	61,904	61,763
自己株式	△4,685	△4,685
株主資本合計	60,900	60,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190	198
その他の包括利益累計額合計	190	198
非支配株主持分	119	120
純資産合計	61,210	61,077
負債純資産合計	139,295	138,431

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年６月１日 至　2025年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年６月１日 至　2026年８月31日）
売上高	78,947	83,273
売上原価	60,766	63,732
売上総利益	18,180	19,540
販売費及び一般管理費	16,507	18,957
営業利益	1,673	582
営業外収益		
受取利息	10	25
受取配当金	4	5
受取賃貸料	44	38
受取保険金	23	13
助成金収入	72	32
その他	30	35
営業外収益合計	185	150
営業外費用		
支払利息	31	98
賃貸費用	15	13
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	8	0
営業外費用合計	55	112
経常利益	1,802	620
特別利益		
受取保険金	50	－
特別利益合計	50	－
特別損失		
災害による損失	70	－
特別損失合計	70	－
税金等調整前四半期純利益	1,783	620
法人税、住民税及び事業税	534	146
法人税等調整額	129	90
法人税等合計	663	237
四半期純利益	1,119	382
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,118	382

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年６月１日 至　2025年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年６月１日 至　2026年８月31日）
四半期純利益	1,119	382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	7
その他の包括利益合計	47	7
四半期包括利益	1,166	390
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,165	389
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループにおける報告セグメントは小売事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年６月１日 至　2025年８月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年６月１日 至　2026年８月31日）
減価償却費	2,052百万円	2,470百万円